

都市圏



完成した雁木マップを確認する雁木組メンバー

雁木の知識 満載マップ

西区のNPO法人

場所や形状 5000部作製

広島市中心部の川を走る雁木^{がみ}タクシーを連航する西区の特定非営利活動法人（NPO法人）雁木組が、デルタ地帯の川岸に残る雁木の場所や豆知識を紹介した「雁木マップ」を作製した。利用者が希望者に無料で配る。（小川満久）

A3判両面カラーで五直してほしい」と話して千部を印刷。江戸時代から使われた階段状の船着き場である雁木の密集する場所や形状、船をつなぐ金具の有無など、関連情報を盛り込んでいる。マップづくりは、雁木組の発足二周年に当たる昨年秋、「川から見た広島」をテーマに始めた。スタッフが雁木タクシーで川をめぐりながら、潮の干満差によって現れる干潟など、知られざる見どころを探し、イラストとコメントを添えた。

氏原睦子理事長は「川から水都を見ると、意外な発見も多い。市民が新たな視点で地域を見つめ

30（）151637。
雁木組 ☎0822（2